

はじめに

王寺町では、2004（平成 16）年に「水と緑と人がきらめく、風格ある生活環境都市」を将来像とした総合計画を策定し、総合的かつ計画的なまちづくりに取り組んできました。また、新たな総合計画の策定にあたっては、2013（平成 25）年度から総合計画審議会に諮問し、策定に取り組んできました。



そのような中、2014（平成 26）年に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、少子高齢化の進展や人口減少、将来にわたって活力ある社会の維持といった課題への対応のため、国において「長期ビジョン」並びに「総合戦略」が策定されることとなりました。王寺町においても、人口減少克服、地方創生といった課題に対応するため、2015（平成 27）年度に5ヵ年計画として「王寺町総合戦略」を策定するとともに事業の実施に取り組み、新たな総合計画については策定期間を変更したうえで、「王寺町総合戦略」における取組の効果を検証しながら内容を検討してきました。

以上のような流れを経て、このたび、10年後のまちの将来像を「人とまちがきらめく 和（やわらぎ）のふるさと 王寺 ～豊かな自然のなか みんなでつくる 心つながるまち～」と定め、行政による取組だけではなく「協働」の視点から住民、地域、団体、事業者それぞれが果たすべき役割を盛り込んだ新たな総合計画を策定しました。

平成の時代の終わりと新しい時代の始まりが見えてきた今、激変する社会の変化に対応し、さまざまな課題を克服しながらまちづくりを進めていくためには、住民の皆様積極的にまちづくりの担い手として参画していただき、地域に根ざした多様な主体が互いに協力しながら、協働のまちづくりを進めていくことがますます重要になってきます。住民の皆様におかれましては、新たな王寺町総合計画の趣旨をご理解いただき、より一層まちづくりに参画いただきますようお願い申し上げます。

また、最後になりましたが、本計画の策定にあたり、12回の長きにわたり熱心にご審議をいただいた総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見を賜りました住民の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

王寺町長 平井 康之